

# リーダーの心得「やせ我慢」

仕事の対策となると「何々をやります」という文字を目にしたリ、発言を耳にしたリします。成果を上げるために計画を立て、やるべき事を考えることは、短期での成果をあげるために大事なことです。しかし、今日は、長期的に自分の器を広げていくためのヒント「何を我慢するのか」について考えてみます。

## 歴

史上の人物や諸先輩方から、たくさん的人生観を学んでいます。私も160人の社員、2千人の会員さんの手本にならねばと日々奮闘中ですが、後に社員から「考えさせられました」と言われた二つの「やせ我慢」エピソードを紹介します。

一つ目は、弊社ゴルフ部の日のこと。車数台で10名が集まりました。ゴルフ場に到着寸前、車から何か異音が聞こえてきました。パンクです。社員数名が「私がロードサービスとの対応をしますので、社長はラウンドしてください」と申し出てくれました。本当に嬉しかったですし、素晴らしい自己犠牲の精神だなあと思いました。

私も本当に楽しみに迎えた日ですが、同じように社員も楽しみに迎えた日です。私はほぼ毎月ゴルフ部に参加していますが、申し出た社員は毎月ではありません。自分が我慢することになりました。

食い下がってくる社員もいましたので、「社長命令だ(笑)。ラウンドしてこい！」と笑いながら言いました。社員は申し訳なさそうに1番ホールに向かっていきました。

ロードサービスのスタッフが応急処置を

終えると、すぐに街のタイヤ専門店に行くようにと言われました。移動中「誰かに頼めば良かったかなあ」という思いも少しちらつきました。タイヤ専門店でのチェックが終わり、ゴルフ場に戻ると、前半が終了しお昼ご飯を食べている時間でした。

「自分達が楽しませてもらって本当にすみません。ありがとうございます」と言って、ご飯を食べながら楽しそうにゴルフ談義をする社員達がいきました。

その姿を見て、自分が対応して本当に良かったと思えました。私は後半9ホールだけプレイしましたが、心から良い日だと思えました。

二 つ目は、昨年の11月下旬、18回目の皇居勤勞奉仕での出来事です。今回は4日間とも天気恵まれ、草取りや丸太運びに落ち葉掃きなど、皆でしっかりと御奉仕させていただきました。初日の昼食のとき弁当が一つ足りません。「私は無くて大丈夫なので、皆さん食べてください」

と二人の社員が申し出ました。皇居勤勞奉仕に参加した経験のある方ならわかると思いますが、とてもお腹が空きます。自己犠牲の精神に対して、凄いなあと思いました。「リーダーの責任です」と言って申し出を退け、皆に食べさせました。

「さすがに昼食抜きは厳しいな」と思いましたが、無いものは仕方ありません。売店で土産用の饅頭を買って昼食にしました。笑顔で「饅頭もうまいぞ！」と皆を和ませながら話していると「凄くカッコいいです！」と言ってくれる団員もいました。

そうやって盛り上がっていると、同じ業者に弁当を頼んでいた他の団体に一つ多く届いたらしく、無事に私のもとに弁当が届きました。配達間違いだっただけです。

もし、自分がゴルフを楽しんでいたなら、弁当をバクバク食べていたら、周りはどう思うだろうか。リーダーは時としてやせ我慢しなければならぬ場面があります。

とは言っても、常にできるわけでもありませんが、努力していけば器が広がっていくのではないかと思います。



(株)キャリアコンサルティング 代表取締役社長 室館 勲 Murodate Isao

2003年株式会社キャリアコンサルティングを設立。2007年ブータン王国立マネジメント大学にて講演。就活支援「プレミアムスタイル」は2018年4月入社の内定率99.81%を達成。全国社内木鶏経営者会 副会長。著書に『夢を見て 夢を叶えて 夢になる』(致知出版社)、『まずは上司を勝たせなさい』(講談社)、『応援される人』になりなさい(ワック)がある。